論文　第8回コンクリート構造物の非破壊検査シンポジウムにおける和文原稿作成テンプレート

Title of your presentation (Title is less than or equal to 2 lines）

○非破壊　太郎\*1・非破壊　花子\*2・非破壊　次郎\*3・非破壊　三郎\*4

Taro HIHAKAI, Hanako HIHAKAI, Jiro HIHAKAI and Saburo HIHAKAI

要旨：6行以内で左右の両端を2文字ずつあけて記載する．要旨は論文の内容と結論を簡潔に伝え，ある程度の知識を有する読者ならば，要旨のみから論文の概要が理解できるようにする必要がある．要旨では本文で言及していないことを述べてはいけない．また，広く使用されていない略記法，記号，術語を用いてはいけない．

キーワード：非破壊検査，コンクリート　のようにカンマ区切りで1行以内

1. はじめに

　本シンポジウムへの論文投稿には，このテンプレートを使用してください．

　原稿は，A4サイズ横書き23字×47行×2段組，余白を上25mm，下20mm，左22mm，右22mmとして作成する．フォントの色は黒とし，種類はMS明朝・MSゴシックとし，英数字等にはTimes・Times New Roman・Arial・Symbolを使用する．

　原稿は，論文・報告（原稿締切：2025年6月3日）ともに全4，6又は8ページに収める．

1. 原稿の書式について
	1. 題目・著者名・キーワード
2. 論文・報告の種別と題目

　論文・報告の種別を第1ページ1行目に左寄せで記入し，その後1文字空けて題目を記載する．なお，報告はテンプレートの「論文」を「報告」に変更する．題目は，1段組みで記入し，2行以内に収める．フォントの種類はMSゴシック・Arialとし，大きさは14ポイントとする．題目が1行に収まらない場合は，適当な箇所で改行し，2行目の左から4文字目から続きを書き始めること．

　英文題目は，和文題目の下に1行（10ポイント）空けて記入し，2行以内に収めること．フォントの種類はArialとし，大きさは12ポイントとする．

1. 著者名と所属

\*1非破壊大学　工学部土木工学科　　　　　　　　Dept. of Civil Engineering, HIHAKAI University

\*2コンクリート大学　工学部環境システム工学科　Dept. of Civil and Environmental Engineering, CONCRETE University

\*3（株）非破壊建設　技術研究所　　　　　　　　Research Institute of Technology, HIHAKAI Corporation

\*4○○大学○○学科　　　　　　　　　　　　　　○○ University

　著者は，1段組みで英文題目から1行（10ポイント）空けて，中央揃え（センタリング）で記載する．フォントの種類はMS明朝，Times・Times New Romanとし，大きさは10ポイントとする．登壇者の前には「○」印を付け，他と区別すること．なお， 英語氏名もその下に中央揃えで記載すること．

　所属先は，各著者の右肩に付した\*（アスタリスク）＋数字に対応する脚注（上付き）とし，「勤務先名　所属部署」を第1ページ最下部に英字所属も含めて示すこととし，大きさは9ポイントとする．著者の所属は2行以内に収めること．なお，連名者は会員，非会員を問わず，4名までとする．

1. 要旨およびキーワード

　要旨は，英語氏名から1行空けて書き始め，1段組みとし，左右両端を2文字ずつ空けて，長さは6行以内とする．キーワードは，1段組みで要旨の次の行から書き始め，左右両端を2文字ずつ空けて記載する．フォントの種類は，MS明朝，Times・Times New Roman・Symbolとし，大きさは10ポイントとする．ただし，本文記載の「要旨：」，「キーワード：」の見出しのみMSゴシック，10ポイントとする．

* 1. 本文

　本文は，キーワードの後に1行（10ポイント）空けて2段組みで記載すること．フォントの種類はMS明朝・MSゴシック，英数字等にはTimes・Times New Roman・Arial・Symbolを使用し，大きさは10ポイントとする．

　章，節の見出しは左端から，項の見出しは1文字空けてから書き出し，番号とその後のスペースは半角で記載し，それだけで1行とること．見出しのフォントの種類はMS明朝・MSゴシック・Times・Times New Roman・Arial・Symbolとし，大きさは10ポイントとすること．各章の見出しの上側は1行空けること．

　最終ページの文末は，左右の段をできる限り揃えて終えること．

図-1 図の作成例

1. 図・表・数式について
	1. 数式

　数式は，3文字空けてから書き始める．式番号は(1)，(2)，(3)とし，式の最後に右寄せにして記す．文中での呼称は，式(1)，式(2)とする．

表記例を以下の式(1)に示す．

 (1)

　ここに，*a*：比例定数，*b*：切片

* 1. 単位

　単位はSI単位とする．

* 1. 図・表・写真について
1. 番号とタイトル

　図・表・写真のキャプションは黒色とし，フォントの種類はMSゴシック・Arialとし，大きさは10ポイントとし，「図-1 応力ひずみ関係図」のように記載する．

　文章中の引用においても，「図-1」などのようにMSゴシック・Arialを使用する．図・表・写真の番号は半角としArialを使用する．また，図・写真のキャプションは図・写真の下に，表のキャプションは表の上に記載すること．

1. 配置

　図・表・写真は，本文の近いところに配置し，ページ一杯または段の幅一杯に配置すること．また，参考文献の後には配置しないこと．

　なお，本文と区別できるように，キャプションを含む領域の上下を本文から1行以上空ける．

1. 色

　講演概要集の配布は白黒印刷した本とするため，図・表・写真は，白黒またはグレースケールとする．

1. 参考文献について
	1. 参考文献

　参考文献は，投稿時に既発表のものに限る．また，参考文献に記載した文献は，本文で必ず引用すること．

　「結論」あるいは「まとめ」の後に「参考文献」と明記し，フォントの種類，大きさはMSゴシック，10ポイントとすること．

　参考とした文献名のフォントは，MS明朝，Times・Times New Romanとし，10ポイントの大きさとする．また，使用順に1)，2)のように番号を付け，まとめて記すこと．

　文献番号は，本文中または引用した図・表・写真のキャプションの最後に，上付数字で1)，2)，3)…のように明記すること．

　参考文献は，文末に記載し，左・右の段を揃えて書き終えるように原稿を作成すること．

* 1. 記載方法
1. 論文等の場合

　著者名：題名，誌名，Vol.，No.，掲載ページ，発行年月の順とする．

1. 単行本の場合

　著（編）者名：書名，発行所名，掲載ページ，発行年月の順とする．

1. 著者名

　和文文献の著書名は必ずフルネームを記す．また，著者が5名以上の場合には，筆頭著者以外を「ほか」と省略してもよい．

　欧文文献の著者名は，姓を先に記し，名はカンマの後にイニシャルで示す．また，著者が4名以上の場合には，筆頭著者以外を「et al.」として省略してもよい．

1. 発行年月

　和文文献の場合，西暦に統一して，2014.3，2013.12のように記す．欧文文献では，Mar.2014，Dec.2013のように記す．

謝辞

　謝辞，参考文献とも本文と同じ大きさの文字で記す．

参考文献（記載例）

1. ○○○○，△△△△：◇◇◇◇◇◇による検討，第4回シンポジウム「コンクリート構造物の非破壊検査」論文集，pp.121-130，2013.8